



CHARACTER BOOK

Gunma Museum of Natural History
APONE exhibition

Gunma Museum of Natural History APONE exhibition / Musashino Art University department of Art policy and Management Sunohara seminar junior students / Gunma Museum of Natural History APONE exhibition / Musashino Art University department of Art policy and Management Sunohara seminar junior students

キタリス

朝と夕方に活発に動く。
木登りが上手く、ほとんどを木
の上で過ごす。主食は針葉樹の
実や芽、キノコ、果実などを食
べる。

KITARISU / *Sciurus vulgaris* / Eurasian squirrel / Red squirrel

- ・大きな尻尾
- ・冬になると耳の先に毛の“ふさ”ができる
- ・懐かない性格、気が強い



ホッキョク ジリス

北極圏のツンドラに穴を掘り、
群れで過ごす。
主食は木の实などで、
夏の3ヶ月以外は
冬眠している。



- ・北極らしさを出すため、本来の毛の色には関連がない水色や白の服に。
- ・耳が非常に小さい

HOKKYOKU ZIRISU / Spermophilus parryi / Arctic Ground

クズリ

KUZURI /



イタチ科の中で最大級の大きさ。力が強く、顎が頑丈で骨を噛み砕くことができる。主食はシカ、ウサギ、果実など。死肉を漁ることも。

Gulo gulo / Glutton / Wolverine

- ・肉食獣としては小柄、愛らしい見た目とは真逆の獰猛な生態系というギャップを意識。
- ・牙がとても大きい





/ Polar bear



ホッキョク グマ

単独行動で主食はアザラシ、
コケ、鳥の卵など様々。
泳ぎが上手く最高時速 40km
を出すことも。

HOKKYOKU GUMA / Ursus maritimus

- ・体長が2m近くある
- ・耳が小さい
- ・かわいらしいビジュアルからは想像できない獰猛さ

タイリク オオカミ

主食はシカやイノシシなど
犬と種族が近く、
高度な社会性を持っており
共同で獲物を狩る。

AMI / Canis lupus / Wolf / Gray wolf / Timber wolf

- ・青銀の色をイメージ
- ・ワイルドさを出しつつ、社交的なイメージで描いた
- ・犬歯



ホッキョク ウサギ

冷たくて厳しい環境を
生き抜くことができる。
ウサギ目では珍しく、
特に冬は 300 匹程の
群れを作る。

HOKKYOKU USAGI / Lepus arcticus / Arctic Hare / Polar Rabbit



- ・耳の中央から先にかけて黒く長い毛が生えている
- ・冬になると擬態するため白く輝く毛皮に

ホッキョク ギツネ

夏は灰褐色で、冬は純白になる。

土中に長い巣穴を作り、
主食はレミング、鳥、卵などを食べる。

HOKKYOKU GITUNE / Vulpus lagopus / Arctic fox



- ・他のキツネより小さいので幼く描いた
- ・キツネ目 & お稲荷様のイメージ
- ・白さを強調

